

# 事業概要説明シート

事務事業番号 31444

事務事業名	「マルシェ・ひらかた」開催事業		
事業開始年度	平成22(2010年度)年度	担当部署	地域振興部地域振興総務課

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(マルシェ・ひらかた実行委員会が主催。市は構成員、事務局として参画し、負担金を支出。)

目的 (何のために)	市内産業に対する市民の理解を深めるとともに、新たなにぎわいを創出し、幅広い世代に枚方の魅力を発信することを目的とする。
---------------	---

対象 (誰・何を対象に)	市内農業者、商業者等の事業者 市民
-----------------	----------------------

事業内容	<p>地元で生産された安全・安心で新鮮な農産物をはじめ、こだわり商品など幅広い商品を扱うまちなか市「マルシェ・ひらかた」を開催。平成22年11月に第1回を開催し、平成22年度は4回、平成23年度は10回、平成24年度は5回開催予定。</p> <p>「産業いきいきイベント」は、単年度ごとに事業が承認されたため、事務事業評価で別事業となっているが、平成23年度の「産業いきいきフェスタ」は、「第11回マルシェ・ひらかた」として開催し、平成24年度の市制施行65周年事業「くらわんか産業いきいきまつり」は、「第17回マルシェ・ひらかた」を含む、物販事業の総称として開催する。</p> <p>「マルシェ・ひらかた実行委員会」(構成団体/枚方市農業研究会、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方市商業連盟、枚方文化観光協会、枚方市)の運営も行っている。</p>
------	--

類似事業	<b>【民間】</b> 樟葉宮みつけ市(開催場所:樟葉宮表参道商店街)、けやき・マルシェ(開催場所:CONOBA香里ヶ丘)
------	--

事業の必要性	「マルシェ・ひらかた」は、枚方市の農産物やこだわり商品など市内の産業を広くPRすると同時に、「枚方市産業振興基本条例」に基づき、産業間連携を促進することも目的としており、地域や商店街の振興を目的に行われている民間の取り組みとは趣旨が異なる。
--------	--

コ ス ト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.60人	4,868千円	0.69人	5,582千円	0.56人	4,480千円	
再任用職員	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円	
非常勤職員等	0.33人	千円	0.0人	千円	0.0人	千円	
人件費計(A)		4,868千円	5,582千円	4,480千円			
直接経費(B)		887千円	923千円	367千円			
総事業費(A+B)		5,755千円	6,505千円	4,847千円			

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金		千円	千円	千円			
府支出金		千円	千円	千円			
受益者負担(使用料等)		千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円			
一般財源		5,755千円	6,505千円	4,847千円			

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	「マルシェ・ひらかた」開催事業負担金(支出先:マルシェ・ひらかた実行委員会)	923千円
		千円
		千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 31444

事務事業名	「マルシェ・ひらかた」開催事業		
事業開始年度	平成22(2010年度)年度	担当部署	地域振興部地域振興総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① 1開催あたりの平均出店者数	件	31	26	30
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費 / 平均出店者数	円	186	247	162
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	<p>「マルシェ・ひらかた」に出店する店舗数の拡充</p> <p>市内農産物を使用した商品の開発等、産業間連携の促進</p>				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	<p>まつばらマルシェ</p> <p>農・商・工および産学官連携のもと、「食」を基本テーマとして開催。松原市をはじめ、近隣地域などの農畜産物や特産品の紹介、販売なども行われる。食60、農産物20、行政20、産業フェア20の合計約120ブースの出店(展)があり、出店料は2日間で1万円。</p> <p>主催は松原市で、実施主体は「まつばらマルシェ企画委員会」(商工会議所、JA大阪中河内、阪南大学、松原市)。</p> <p>企画運営は、商工会議所に約1,500万円で委託している。その他予算として講演会等100万円。</p>				
特記事項	<p>アンケートの結果、市民からは好評を得ている。</p> <p>出店者からも好評を得ているが、出店希望は少なく(出店料は無料)、一定数のブースを確保するため、出店案内を送付するだけでなく、関係課から電話依頼もしている。</p>				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	出店者数及び来場者数が減少傾向にあるため、より効果的、効率的な開催方法を検討する。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「枚方の食」として「くらわんか産業いきいきイベント事業」と一本化できないか</li> <li>・イベント内容の再検討が必要ではないか</li> </ul>				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	<p>「くらわんか産業いきいきまつり」と一本化できないか」という指摘を受けたが、平成23年度の「産業いきいきフェスタ」も「第11回マルシェ・ひらかた」として開催しており、もともと1本化している。</p> <p>マルシェ・ひらかたの柱のひとつである地元農産物の販売については、野菜の端境期を考慮し、季節や曜日などによる来場者数など平成23年度の状況をふまえて、平成24年度はマルシェの開催回数をしぼる中で、「七夕マルシェ」や、「くらわんか産業いきいきまつり」のように、他のイベントとコラボレーションすることでPR効果を高め、集客増も見込むという創意工夫により、効果的、効率的に開催ができるよう、取り組んでいる。</p> <p>出店者ニーズが産業分野により異なるため、平成25年度に向けては、今年度の取り組み結果をふまえて検討する。</p>			